

政策評価トピックス 第78号（2007年4月15日）

・青森県：アウトソーシング商談会の開催

青森県では、アウトソーシングを外部資源の有効活用による公共サービスの質の向上と効率化を目指した民間開放全般を意味するものとして、民間の様々な分野の人たちのアイデアや意見等をもらって、県業務のアウトソーシングの新たな展開を図るため、3月に「青森県アウトソーシング商談会」を開催しました。

その商談会においては、企業、NPO法人、地域づくり団体等の民間団体から、「具体的な県事業をより効率的に実施できる」、「イベント等の県事業と一緒にやりたい」、「アウトソーシングの進め方自体について提案したい」などの意見をあらかじめ募り、個別に意見を交換しました。

<http://www.pref.aomori.lg.jp/gyokaku/1903shodankai/syoudankaihp.htm>

・神奈川県：NPO等による県の事業評価結果の活用

神奈川県では、NPO等と県との協働の一環として、NPO等に県の事業を評価させ、その結果を効果的・効率的な事業の推進等に活かす事業評価を実施しています。

18年度は、総合防災センター企画運営事業等の3事業についてNPO等による事業評価の対象としており、3月にその評価結果の活用状況等について、公表しました。その一つである「県のたより作成事業」については、紙面の見やすさ等の観点から、県民にとって読みやすく、親しみやすい広報誌になっているかの評価をしてもらいました。その評価結果である表紙の工夫、企画記事の表現の工夫等についての提言に対して、それぞれの提言の趣旨を踏まえ、さらに工夫を重ねていきたいとしています。

<http://www.pref.kanagawa.jp/gyoukaku/3seisakuhyoka.html>

・和歌山県：「わかやま改革と発展の政策」の総括

和歌山県では、施策の重点化等独自の施策展開を図り、その取組状況を県民にわかりやすく示すため「わかやま改革と発展の政策」を策定していましたが、その進行管理の総括として、平成18年11月時点での評価を実施し、19年2月に公表しました。

その結果は、140の重点項目について、18年度の数値目標に対する達成度（見込み）で評価し、完了が5項目、順調が59項目、概ね順調が60項目、遅れているが13項目、未評価が3項目となっています。このうち農林水産部関係では、順調が「地産地消」ビジネス等12項目、概ね順調が多様な農業の担い手の育成等5項目、遅れているがみかんのマルチ栽培園地の拡大等3項目となっています。

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/000600/seisakujocho/soukatsusinko.html>

・山口県：18年度施策改善の結果

山口県では、「施策評価」、「事業評価」及び評価結果に基づき施策・事業を改善する「施策改善」の三つの取組で構成されている政策評価システムの一環として、「施策改善」を平成19年3月に実施し、平成19年度当初予算への反映状況（主な19年度事業）を整理・公表しました。

具体的には、23の政策（県民活力の発揮等）を構成する71の施策（魅力ある県民活動の推進等）について、18年9月に実施した施策評価の結果を踏まえ、事業や取組の改善・見直しを行っています。

農林水産部関係では、政策「活力に満ちた農林水産業の振興」の施策「生産を支える基盤の整備」の評価結果Bに対し、県産素材を活用した食品加工研究推進事業等を新規に実施することとしています。

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a10000/s-hyouka/18kaizen.html>